



校報 水糸者

No. 848

29年度・第21号

運動会、始動！

～学校創立140周年記念・大運動会の練習がいよいよ開始～

今日の児童朝会で行われた「運動会結団式」では、運動会スローガンの発表や応援団リーダーによる決意表明、健闘を誓い相手に対して『エール』を送り合い、いよいよ27日の運動会に向けての取り組みが本格的に始まりました。

今年の運動会スローガン

ぜんしょう・ぜんしょう・ぜんしょう
全勝・全笑・全咲

- ・全勝…全員で自分に勝つ
- ・全笑…勝っても負けても全員で笑って最高の運動会にする
- ・全咲…全員で、練習の花や笑顔の花を咲かす

運動会スローガンに込められた願い

このスローガンを達成するための、児童会で考えた取り組み名は

『天までとどけ！えがおの花』です。

運動会の意義や価値



団長

白組団長の小向さんと赤組団長の玉沢さん。この2人を先頭に、今年はどうなドラマが繰り広げられるのでしょうか…

- ① やり遂げた達成感や充実感を味わわせ、子ども達の**自己肯定感**を高める機会としたい。
- ② 普段、大変お世話になっている地域の方々に、本校が**貢献**する機会としたい。
- ③ 本校の**めざす子どもの姿**でもある「進んで勉強する子ども」や「思いやりのある子ども」、「進んで心と体をきたえる子ども」を具現する場としたい。

互いの健闘を誓いあいました。



勢ぞろいした白組、赤組の応援リーダーたち。全校を引っ張ってください。

「晴れ舞台」

運動会は、子ども達の

子ども達は、運動会のスローガン「全勝・全笑・全咲 ～天までとどけ！ えがおの花」の実現のため、6年生のリーダーを先頭に自分と友と、担任と切磋琢磨しながら練習を行って行きます。

運動会は、勝ったうれしさや負けたくやしき、自分や友のすばらしきなどに気づく、子どもの成長に欠かせない大切な教育活動の場でもあります。

走るのが速い事だけが価値があるのではなく、勝っても負けても、最後まで歯を食いしばって走り切る事が大切です。きちんと走り切る事が、その後の学校生活に生きてくるのです。

そのために練習から「本気」での取り組みが前提となってきます。

「楽しかった」、「やればできる」、「頑張った甲斐があった」、「力がついた」、「認めてもらえた」などといった、今後の学校生活に対する向上心や意欲の基ともなる『自己肯定感』の高揚につながる体験をさせて行きたいものです。

つらい事も「友」と「共」に乗り越えていくときに、たくましい『根っこ』と『節』が出来上がっていきます。

「成功したが、次はやりたくない」や「失敗したし、次もやりたくない」といった子どもではなく、「成功し、次もやりたい」や「失敗したが、次もやりたい」といった子どもに育てるために、「形」だけではなく、「心を耕し、真の種を蒔く」指導を続けていく種市小学校です。がんばれ種小っ子！



結団式・校長の話

「勝ってうれし泣きをする、負けて悔し泣きをする運動会」を…

皆さんは、昨年度の運動会の閉会式を覚えていますか？

6年生がみんな泣いていましたね。今年も「勝ってうれし泣きをする、負けて悔し泣きをする運動会」にしてほしいと願っています。



そのために、『4つのお願い』をします。

1. きちんと団長の指示に従いましょう。

これからの2週間は、赤と白のチームで活動するので、リーダーと心を1つにしてがんばってください。

2. きちんと応援をしましょう。

応援は友達に力を与えてくれるものだからです。

3. きちんと係活動をしましょう。

4. きちんと走り切りましょう。



走ることが遅いことが恥ずかしいことではない。手を抜くことが恥ずかしいことです。

勝つチームにはある「きまり」や「法則」があります。

- ①本番で100%の力を出せるように、練習では120%の力を出して頑張ります。

勝てばいいや、本番だけ頑張ろうと思っているチームは勝てません。

- ②「何やってんだ!」、「ぐずぐず」などといった人が傷つく言葉を使わずに「頑張ろう!」、「大丈夫だよ」といった心が温くなる、やる気が出てくる言葉を使います。

- ③「早寝・早起き・朝ごはん」これが一番重要です。

今年は、学校が誕生して140年目の記念の年です。

その記念の年にふさわしい運動会となるよう、みんなでしっかりとやりましょう。

